

木造阿弥陀如来立像 1 軀

木造阿弥陀如来立像

もくぞうあみだによらいりゅうぞう

分野／部門

有形文化財／美術工芸品〔彫刻〕

所有者

宗教法人 大乘寺(だいじょうじ)

所在地

大阪市天王寺区生玉寺町 4-2

紹介



木造阿弥陀如来立像(大乘寺)

大乘寺は、天王寺区生玉寺町に所在する浄土宗寺院である。大坂城築城の際に営まれた寺町のひとつ、生玉寺町に寺地を構えている。起立は慶長年間(1596～1615)という。本堂中央にまつられる、本尊の阿弥陀如来立像は、像高 81.5 センチメートル、定朝様を呈し制作は平安時代後期にさかのぼる、市域に伝来する貴重な中世彫刻の一例である。